



平成 22 年度認定		
	氏名	村瀬 勝吉 (むらせ かつよし) 昭和 19 年生
	住所	長崎県西海市
	分野	西海枝折れなす
	技術の内容と活動状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ およそ 450 年の歴史をくぐり抜けて作り続けられてきた枝折れなすは枝が折れるほど果実をつけることから、そう呼ばれた自家栽培のナスだった。へタ部は緑色で種子が少なく、肉しまり良い。平成 17 年に種の固定化に成功し、商標登録をした。また、独自の特性を活かし、「生でよし」「焼いてよし」「煮てよし」「漬けてよし (味噌漬け)」と四拍子揃ったナスとして地域ブランドに確立した道を歩み続ける。</li> <li>・ 農業改良普及員の資格を有する氏が、20 年に及ぶハウスでの隔離栽培により採種・育苗を続けた結果、平成 16 年に普及センター、地元短大と連携して栽培・調理・食味調査を行い品種が固定化していることを確認。「西海枝折れなす」の商標権を取得。種子・苗は、農業高校や農家に提供。生産者への栽培技術指導を引き受け技術伝承。</li> <li>・ 平成 18 年からは、地元 JA 野菜部会で生産が開始され、直売所・朝市へ出荷も始まり伝統野菜の普及が進行。</li> </ul>
	相談・指導に応じられる分野	西海市西海町 (旧瀬川地区) に昔から伝わる「西海枝折れなす」について、名前の由来や歴史のほか、栽培、管理についての紹介や指導。栽培、管理については、西海枝折れなすの魅力である着果数の多さや連続着果することでの肥料不足を補うため、追肥を行い肥料切れをさせてないことや、夏季に灌水を行い敷きわらを十分に敷き詰めることでの乾燥対策など、具体的に分かりやすく指導、助言を行う。その他、テレビや雑誌等の報道機関の取材受け入れを行い、行政や各種団体からの要請があれば講師として参加する。
	国・都道府県・中央団体等の受賞歴	
	主な役職	
	最近の活動状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 29 年生産より、県補助事業の一つとして直売所を通じてふるさと納税者への御礼品として地元独自で「味噌漬け」を開始しました。</li> <li>・ 私の苗を購入した生産者に限り、苗も一株 200 円で 50%補助金付きで配布されました。</li> </ul>
	HP	